

これまでにない使いやすさー機能性とデザイン性の両立

Debut!

HEARTECT X MILD HYBRID

新型ワゴンR

登場!!

ワゴンRステイングレー

マイルドハイブリッド

ハーテクト

日本中で愛されてきたスズキ・ワゴンRがフルモデルチェンジを受け、6代目モデルへと進化した。

新世代プラットフォーム「ハーテクト」を採用し、軽量化を図るとともに走りの質感も向上。進化したマイルドハイブリッドはさらなる低燃費を実現し、一方で高速移動もこなしたい人のためにハイブリッド&ターボエンジン車も用意。一新されたスタイルはモダンで先進的な中にも親しみやすさを感じさせ、クラストップの広い室内、考え抜かれた収納スペースなど日常を過ごすパートナーとしての機能性も抜かりない。先進安全機能であるデュアルセンサーブレーキサポートなど全方位の安全性も確保され、より幅広い層にアピールできるクルマとなったワゴンR。そのポテンシャルは想像以上だ。

デュアルセンサーブレーキサポート

ヘッドアップディスプレイ



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351代表

SUZUKI
新型
ワゴンR
特集号

HYBRID FZ
2WDなど
33.4
km/ℓ

マイルドハイブリッド搭載で軽ワゴンNo.1の低燃費



デュアルセンサーブレーキサポート
など先進安全機能搭載
DUAL SENSOR BRAKE SUPPORT

WAGONR

文/田畑 修(モータージャーナリスト) 写真/奥隅圭之

それまではハッチバックスタイルやワンボックススタイルが主流だった軽自動車の流れを大きく変えたワゴンR。1993年に登場した初代モデルは室内の広さや使い勝手はワンボックスに劣らず、運転のしやすさは乗用車と変わらずスタイルもよく、ワゴンR以降はこのデザインが軽自動車の主流となる。2003年登場の3代目ではよりスタイリッシュなステイングレーが加わり、5代目モデルでは減速エネルギーをリチウムイオン電池に貯めて活用するエネチャージや、アイドリングストップ中も冷房を保つエコクールといった新たなテクノロジーも導入。初代モデルからの累計販売台数は約440万台、国内保有台数は約280万台と多くの人に愛され続けている。

軽自動車の真ん中
新たな価値を作った
ワゴンR

WAGONR

3つのエクステリア

HEARTECT X MILD HYBRID

四角をモチーフとしたシンプルなフロントマスクの「FA」と「ハイブリッドFX」、グリルとヘッドランプを上下2段階構えとしたスタイリッシュな「ハイブリッドFZ」、そして特徴のあるメッキグリルとタテ型LEDヘッドランプで存在感を強調した「ステイングレー」の3種類のデザインが用意された新型ワゴンR。それぞれに基本ボディのよさ

を生かしながら、ひと目でそれと分かる個性が与えられている。インテリアもグレード設定に合わせてインパネの配色やメーターのデザイン、シートカラーが設定されており、それぞれの個性を演出。ステイングレーにはターボエンジンとハイブリッドシステムを組み合わせたグレードも用意され、全グレードに4WD車も設定されている。



ワゴンR HYBRID FX



ワゴンR HYBRID FZ



ワゴンRステイングレー HYBRID T

主要諸元表	ワゴンR						ワゴンRステイングレー					
	HYBRID FZ		HYBRID FX		FA		HYBRID T		HYBRID X		L	
ボディ	2WD (前2輪駆動)		2WD (前2輪駆動)		2WD (前2輪駆動)		2WD (前2輪駆動)		2WD (前2輪駆動)		2WD (前2輪駆動)	
駆動方式	フルタイム4WD		フルタイム4WD		フルタイム4WD		フルタイム4WD		フルタイム4WD		フルタイム4WD	
トランスミッション	インパネシフトCVT		インパネシフトCVT		インパネシフトCVT		インパネシフトCVT		インパネシフトCVT		インパネシフトCVT	
全長×全幅×全高(mm) ※	3,395×1,475×1,650		3,395×1,475×1,650		3,395×1,475×1,650		3,395×1,475×1,650		3,395×1,475×1,650		3,395×1,475×1,650	
室内寸法(長×幅×高さmm)	2,450×1,355×1,265		2,450×1,355×1,265		2,450×1,355×1,265		2,450×1,355×1,265		2,450×1,355×1,265		2,450×1,355×1,265	
ホイールベース(mm)	2,460		2,460		2,460		2,460		2,460		2,460	
トレッド(mm) 前	1,295		1,295		1,295		1,295		1,295		1,295	
トレッド(mm) 後	1,300		1,290		1,300		1,290		1,300		1,290	
最低地上高(mm)	150		150		150		150		150		150	
車両重量(kg)	790		840		770		820		750		800	
乗車定員(名)	4		4		4		4		4		4	
JCOBモード燃料消費率(km/ℓ)	33.4		30.4		33.4		30.4		26.8		25.4	
最小回転半径(m)	4.4		4.4		4.4		4.4		4.4		4.4	
エンジン型式	R06A型		R06A型		R06A型		R06A型		R06A型		R06A型	
エンジン種類	水冷4サイクル直列3気筒		水冷4サイクル直列3気筒		水冷4サイクル直列3気筒		水冷4サイクル直列3気筒		水冷4サイクル直列3気筒		水冷4サイクル直列3気筒	
総排気量(cc)	658		658		658		658		658		658	
使用燃料/燃料タンク容量(ℓ)	無鉛レギュラーガソリン/27		無鉛レギュラーガソリン/27		無鉛レギュラーガソリン/27		無鉛レギュラーガソリン/27		無鉛レギュラーガソリン/27		無鉛レギュラーガソリン/27	
エンジン最高出力(ネット)(kW(PS)/rpm)	47(64)/6,000		47(64)/6,000		47(64)/6,000		47(64)/6,000		47(64)/6,000		47(64)/6,000	
エンジン最大トルク(ネット)(N・m(kg-m)/rpm)	98(10.0)/3,000		98(10.0)/3,000		98(10.0)/3,000		98(10.0)/3,000		98(10.0)/3,000		98(10.0)/3,000	
モーター型式/種類	WA05A/直流同期電動機		WA05A/直流同期電動機		WA05A/直流同期電動機		WA05A/直流同期電動機		WA05A/直流同期電動機		WA05A/直流同期電動機	
モーター最高出力(kW(PS)/rpm)	2.3(3.1)/1,000		2.3(3.1)/1,000		2.3(3.1)/1,000		2.3(3.1)/1,000		2.3(3.1)/1,000		2.3(3.1)/1,000	
モーター最大トルク(N・m(kg-m)/rpm)	50(5.1)/100		50(5.1)/100		50(5.1)/100		50(5.1)/100		50(5.1)/100		50(5.1)/100	
動力用主電池/個数/容量(Ah)	リチウムイオン電池/5/10		リチウムイオン電池/5/10		リチウムイオン電池/5/10		リチウムイオン電池/5/10		リチウムイオン電池/5/10		リチウムイオン電池/5/10	
ステアリング	ラック&ピニオン式		ラック&ピニオン式		ラック&ピニオン式		ラック&ピニオン式		ラック&ピニオン式		ラック&ピニオン式	
主ブレーキ形式 前/後	ディスク/ブレーキ・ディスク/ブレーキ		ディスク/ブレーキ・ディスク/ブレーキ		ディスク/ブレーキ・ディスク/ブレーキ		ディスク/ブレーキ・ディスク/ブレーキ		ディスク/ブレーキ・ディスク/ブレーキ		ディスク/ブレーキ・ディスク/ブレーキ	
サスペンション 前	マクファーソンストラット式コイルスプリング		マクファーソンストラット式コイルスプリング		マクファーソンストラット式コイルスプリング		マクファーソンストラット式コイルスプリング		マクファーソンストラット式コイルスプリング		マクファーソンストラット式コイルスプリング	
サスペンション 後	トーションビーム式 コイルスプリング	ITL70インテリジェント トーションビーム式 コイルスプリング	トーションビーム式 コイルスプリング	ITL70インテリジェント トーションビーム式 コイルスプリング	トーションビーム式 コイルスプリング	ITL70インテリジェント トーションビーム式 コイルスプリング	トーションビーム式 コイルスプリング	ITL70インテリジェント トーションビーム式 コイルスプリング	トーションビーム式 コイルスプリング	ITL70インテリジェント トーションビーム式 コイルスプリング	トーションビーム式 コイルスプリング	ITL70インテリジェント トーションビーム式 コイルスプリング
タイヤ	155/65R14		155/65R14		155/65R14		155/65R14		155/65R14		155/65R14	

※ルーフアンテナを折り畳んだ際の数値です。燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

WAGONR





HYBRID FZ
2WDなど
33.4
km/ℓ

MILD HYBRID

HEARTECT

DUAL SENSOR
BRAKE SUPPORT

HEAD UP DISPLAY

WAGON R

どこから見ても新しさを感じさせる新型ワゴンR



HYBRID FX

マイルドハイブリッド搭載で低燃費

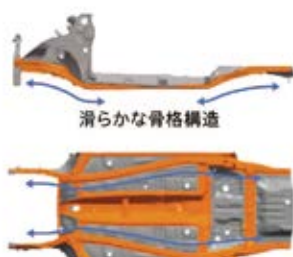
新型ワゴンRのハイブリッドFZおよびハイブリッドFZ、ワゴンRスティングレーのハイブリッドTおよびハイブリッドXには、エネチャージから進化したハイブリッドシステムが搭載される。モーター機能付き発電機であるISGは高出力化が図られ、リチウムイオンバッテリーの容量もアップ。モーターのみの駆動によるクリープ走行が可能となり、燃費向上をサポート。加速時は約100km/hまでモーターがアシストし、全域でのスマートな走りを実現している。減速時はISGが発生した電力をリチウムイオンバッテリーだけでなく補機用の鉛バッテリーにも供給・充電して燃費向上に貢献。さらにアイドリングストップからの再始動時にISGを使うことで同乗者が気づかないほど静かな始動とスムーズな発進を可能にしている。

ボディ剛性アップと軽量化

新プラットフォーム「ハーテクト (HEARTECT)」の採用により高いボディ剛性と軽量化を両立。土台となるアンダーボディを滑らかな骨格構造とし、サスペンション部品も骨格の一部として利用するなど総合的な手法で剛性を確保している。さらに上層となるボディは超高強度鋼板の利用率を約2倍とし、剛性アップとともに軽量化を実現。先代モデルに比べて約20kgの軽量化が図られている。サスペンションもフレームの剛性を高めてしっかり感を向上させる一方で、部品の中空化やリアサスペンションのトーションビーム化 (2WD) などで軽量化を図り、軽快感と乗り心地を向上。運転する楽しさを味わえるとともに、同乗者を含め快適な移動を約束してくれる。



HEARTECT



滑らかな骨格構造

*画像はハーテクトのイメージです。

先進安全性能

一段と進化した先進安全性能を備えた新型ワゴンR。歩行者検知機能を備えたデュアルセンサーブレーキサポート (DSBS) は、単眼カメラと赤外線レーザーレーダーにより前方の障害物を検知し、警告、ブレーキアシスト、自動ブレーキ作動と状況に応じて衝突回避をサポートしてくれる。さらに誤ってアクセルを強く踏み込んだときなどは誤発進抑制機能が作動して急発進を防ぎ、走行中に車線からハミ出しそうになると警告を発する車線逸脱警報機能なども設定。また、夜間走行時にハイビームを選択しておけば、対向車が来たら自動的にロービームに切り替え、通り過ぎればハイビームに自動復帰するハイビームアシスト機構なども用意。全方位の予防安全性能を備えている。

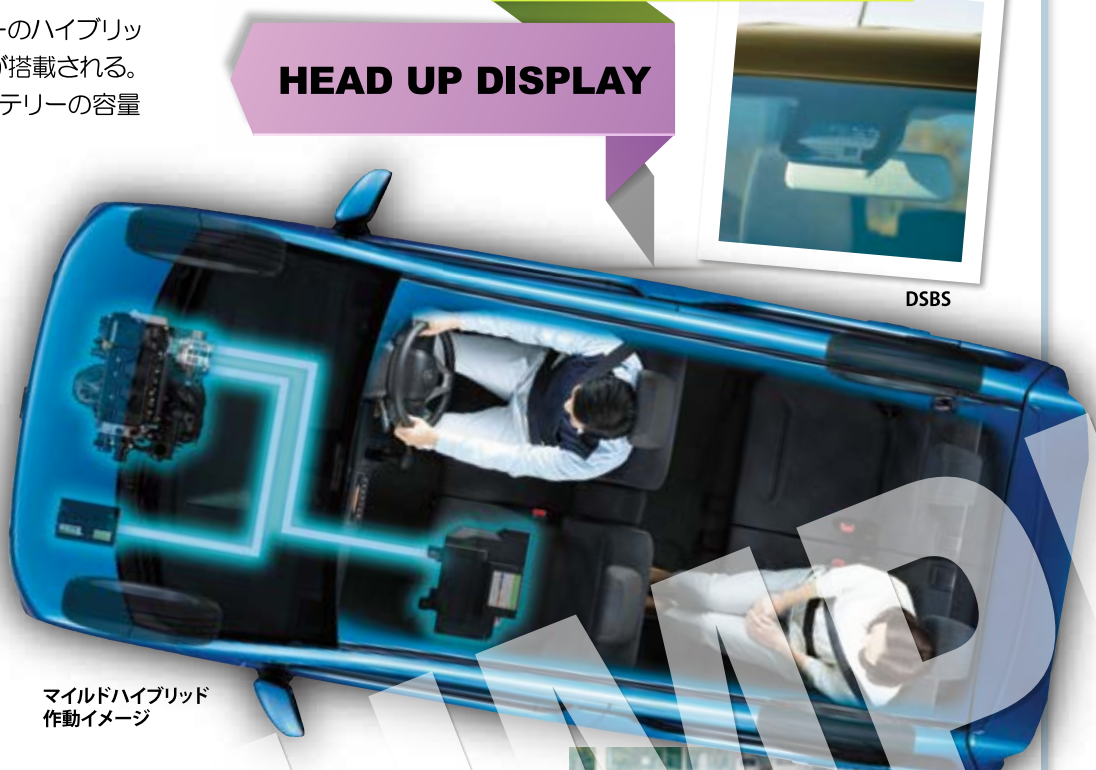
Engineer's Voice



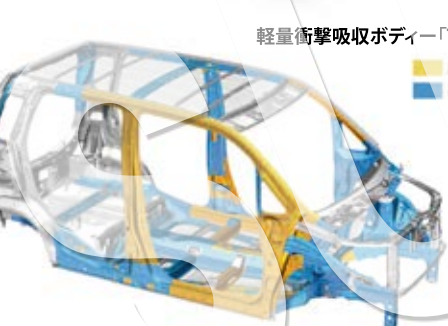
HYBRID FX

スズキ 四輪商品・原価企画本部長
加藤勝弘さん

新型ワゴンRを見て、免許を持っていない方が免許を取りたくなるようなクルマにしたいと考えて開発を進めてきました。デザインを含め、これまでのワゴンRとは違うワゴンRにしたかったですし、「軽自動車の真ん中」にあるクルマとして、より幅広いお客さまに愛されていただけるように3種類のデザインを用意しています。ハイブリッド車はISGのモーター出力向上とリチウムイオンバッテリーの大容量化でモーターのみでのクリープ走行もできますし、前席も後席も広がった室内など、一段と進化したワゴンRをぜひ実車で確認してください。



マイルドハイブリッド
作動イメージ



軽量衝撃吸収ボディ「TECT」

超高強度鋼板

高強度鋼板



ヘッドアップディスプレイを
使用しない時は
ディスプレイを格納できます

ヘッドアップディスプレイ

ヘッドアップディスプレイ

視線をメーターに移動することなく車速やシフト位置、デュアルセンサーブレーキサポート (DSBS) の警告などを確認できるヘッドアップディスプレイを軽自動車に初めて採用。前方を注視しながら必要な情報が視野に入ってくるので安全を確保でき、さらにドライバーの目の焦点移動が減ることで疲労軽減にも貢献する。また、オプション設定の全方位モニター付きナビゲーションを装着すれば交差点案内も表示され、戸惑うことなく目的地を目指す。ディスプレイ角度は体格に応じて調整できるので複数のドライバーが運転する場合でも違和感を覚えることはない。



アンブレラホルダー

ラゲッジ
アンダーボックス

使いやすい豊富な車内の収納スペース

リアのラゲッジルームの使い勝手のよさや、豊富な車内の収納スペースにも注目したい。大きく開くバックドアは開口幅が最大1165mmと100mmも広げられ、内部も荷物を積む機会の多い下部スペースの収納力がアップ。ラゲッジアンダーボックスを大容量化したことでベビーカーを立てたまま納めることもできる。リアシートは左右それぞれ160mm前後スライドが可能で、後席とリアラゲッジのスペースを自由にシェアするのもありがたい。室内に目を移すと後席ドアには新たにアンブレラホルダーが設けられ、濡れたままの傘をスッキリ収納できる。雨水を車外に排出する仕組みも秀逸だ。その他の収納スペースも容量アップが図られ、日常の使いやすさは大きく向上している。

Debut!

シンプルな面構成のボディはクリーンながら存在感を際立たせ、三角形のBピラーがデザインアクセントとなりクオリティ感も増している。グラスエリアが大きく取られたリアビューは幅広感を強調し、低い位置に置かれたリアコンビネーションランプが過ぎ去る姿を印象づける。三角形のBピラーより前方はより広くなったパーソナルスペース。後方は使いやすくなった実用スペースといった機能面を表現したデザインとなっており、新たな軽自動車の方向性も感じさせる。3色の新色が加わった全13色のボディカラーも、クルマを所有する喜びを倍増させてくれることは間違いない。



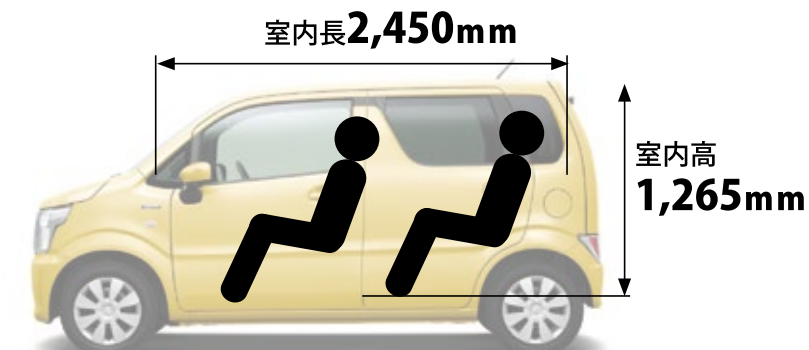
HYBRID FZ

広がった室内の心地よさを一段と 高めてくれるインテリアの進化も見逃せない!

インストルメントパネル (インパネ) はシンプルな横長のデザインがワイド感を強調し、センターに置かれたタブレット調のディスプレイと相まってモダンな空間を演出。視認性にも配慮されたセンターメーターは運転席回りに開放感をもたらす。シフトレバー横にビルトインされたエアコンなどの操作部も粋で新しさを感じさせる。インパネ回りにホワイトを使ったFAおよびハイブリッドFZ、ダークブルーなどでスポーティさを演出したハイブリッドFZ、力強くアクセントの効いたスティングレーと、それぞれのモデルに合わせて色やデザインも吟味されている。

体格のいい男性でもゆったりくつろげる 室内空間の最大化

新プラットフォーム「ハーテクト」の採用によりエンジンルームを最小化し、ボディの大きさはそのまま広い室内スペースを確保。2450mmの室内長は先代モデルより285mmも長く、軽自動車ワゴンではクラス最長。乗員の前後間距離も35mm伸ばされたことで、体格のいい人でも後席でゆったりと寛くことができ、室内幅も60mm広げられて大人4人が余裕を持って座ることができる。前後ドアは大きく開くので、荷物を持ったままでも楽に乗り降りできるのも嬉しい。また、前後の視界確保に関してもドアミラーの小型化で前方の死角を減らし、後方はリアウィンドウの下端を下げて真後ろの視認性を高めている。新設されたリアクォーターウィンドウも斜め後方の視認性向上に貢献している。



インパネ HYBRID FZ



シート HYBRID FZ



インパネ FA

シート FA

WAGON R STINGRAY



STINGRAY HYBRID T

